

例 言

1. 本書は、2021 年度に京都府立大学文学部歴史学科の教員と学生がおこなったフィールド調査、およびそれに関連する研究、調査研究成果の活用についての概要報告集である。
2. 第Ⅰ部には、京都府立大学地域貢献型特別研究（ACTR）をはじめ、京都府下において歴史学科教員が中心となって実施したフィールド調査の概要を報告する。なお、複数年度にまたがる研究課題については、2021 年度以前の調査成果とあわせて収録している。
3. 第Ⅱ部は、京都府外の地域を対象に、科学研究費補助金の研究課題や受託研究、実習授業などの一環として、歴史学科の教員と学生が中心となって実施したフィールド調査の概要を収録した。
4. 第Ⅲ部には、京都府立大学文学部歴史学科が中心となってすすめている京田辺市史、和束町史の編纂事業に関わる調査の速報を収録した。2017 年度より京田辺市とは京田辺市史編纂に関わる「連携協力に関する覚書」を、和束町とは和束町史編纂に関わる「連携協力包括協定」をそれぞれ締結している。
5. 第Ⅳ部には、滋賀県東近江市において実施した文化遺産学フィールド実習（2021 年 11 月）の成果の一部を収録した。文化遺産学フィールド実習は、文化遺産の調査、保全、活用などについて、実際に現地を訪れて学習する実習科目で、おもに学部 2 回生を対象としている。
6. 本号の編集は東昇が担当した。編集にあたっては、滝澤和湖（文学研究科史学専攻前期博士課程 1 回生）が編集実務を分担した。